

# 北 河 内 会 報

## 自然愛好会

2022年12月15日 №.115

北河内自然愛好会発行

事務局：大東市野崎 3-7-7

西畑敬一 方

ホームページアドレス：<http://www.cc-net.or.jp/~ja3aeh/3shizen/3-3kitakawati.htm>

第 432 回例会「ほしだ園地の植物」交野市 2022年9月3日

田中光彦

暑い日差しの中逢阪バス停で下車すると、太田さんと稲原さんが待っていてくれた。早速二人の車に分乗して飯盛霊園の中のほしだ園地への入り口付近まで送ってもらう。

稲原さんは車を私市の方へ回して逆コースを歩き合流すると言って帰った。今日の担当者の栗田さんは医者に寄ってからなのでバス 1 台分遅くなるとのことで、再度太田さんに田原台 1 丁目バス停まで迎えに行ってもらおう。我々はその付近のアイナエを観察しながら待っていると、太田さんの車で栗田さんと長島さんが登場した。太田さんはそのまま所用があるのでと言って帰り、いよいよ出発する。

アイナエ、ハタガヤ、ザクロソウなどを見てから坂道を上り、ナツハゼの実、ケアクシバの赤い実などを味見しながら峠まで登ると、すぐに右手の下り道を下る。ササクサが多いがまだ実が熟していないので引付き虫になることはない。ハシカグサ、ヒメキンミズヒキ、ガンクビソウ、シラヤマギク、キッコウハグマなどが花やつぼみを付けていた。様々なキノコが見られたが名前のわかるものは少なく、きれいなベニイグチくらいしかわからなかった。途中の岩でウチワゴケだけでなく大変立派なコウヤコケシノブの群生が見られた。また白い大きなかたまりがいろいろな形で斜面などにたくさん見られたので、変形菌（粘菌）の一種だろうかなどと言っていたが、後日キノコ屋さんに写真を送ってみてもらおうと、古くなって崩れたベニイグチの残骸だという返事だった。

谷を下まで降りて管理道とぶつかった所にベンチとテーブルと湿地があり、12時半頃に昼食とする。

1時過ぎ、昼食を終えてその湿地で群生する咲き始めたばかりのコイヌノヒゲ（イトイヌノヒゲ）やヤマイ、テンツキ、カワラスガナ、ホウキヌカキビなどを観察していると急に雨が降り出した。かなりの雨量である。あわてて傘や雨具を出し、管理道の両側に生えているアイナエを始め、実になっているモウセンゴケやアブラガヤ、ヒヨドリバナ、ノギランなどを観察しながら雷雨の中やまびこ広場まで上り、その東屋で雨宿りをする。

2時を過ぎててもなかなか小降りにならないので、予定を変更して星のブランコ道を通るのは止めて管理道を下ることにして出発する。実になっているコゴメバオトギリやスズメウリ・マルバハギの花などを見ながら歩いていると少し小降りになる。ピトンの小屋まで降りた所で稲原さんと出会う。園内放送があり、「今は小降りだが 30 分後には再度大雨をもたらす雨雲がやってくるので、急ぎ下山して下さい」という。

それから木道を通り下の駐車場の少し先のツチアケビの実を見て、稲原さんの車に便乗する人と川沿いの道を歩いて私市駅まで帰る組とに分かれた。私は雨具なしで折り畳みの傘だけだったので、そのころには汗と雨とで全身ずぶぬれの状態で、水もしたたるイイ男になっていた。他の人はどうだろうと思い見回すと似たような人が何人かいたが、水もしたたるイイ女は一人もいなかった。みんな用意周到に雨具を持っていたのだ。

「星の里いわふね」に着くころにはすっかり雨は上がり、私市駅までまた暑い日差しの中舗装道路を歩く。センニンソウ、マルバルコウの花が咲いていた。予定より 20 分遅れの解散時間に私市駅に着く。雨の中、緑がとてもきれいに見えた観察会だった。

◎その他に見た植物：ミヤマガマズミ、コツクバネウツギ、ハネミイヌエンジュ、アマヅル、オカトラノオなど。

◎参加者：栗田泰子、磯田一雄、稲原ヒサエ、稲原良三、榎本知恵子、高見君江、田中光彦、長島照文、西畑敬一、波多野恵子(以上 10 名)

雨の後のお天気 2 日続きの天気予報でキノコ観察には悪くない条件だった。1 か月遅れの昨年と同様のコースを考えていたが初めてのキノコ例会担当ということもあり下見に出かけることにした。ところが、「キノコが出ていない！」昨年のイカタケも復活せず、茶色いキノコが多少はあるがキノコ観察会担当としてはもう少しにぎやかさを求めたい。昨年ベニタケの仲間やイグチも出ていた「奥の池」の北側も歩いてみるが今年は全く出ていない。思案六方、急遽穂谷農道コースと違い、森にも多少は入れる条件のあるエビコ道から枚方野外活動センターの選択をした。昨年の比較的緩やかなコースを想定されていた方には短時間だが急登のエビコ道は堪えられたかも知れずお詫びいたします。

穂谷公民館前から野活へ向かう道、ボーイスカウトの野営場前の道でスッポンタケの球形の幼蕾から何か白いものが出ているのを発見。下野先生が「これはスッポンヤドリタケや！これは珍しい、関西でも大阪でも数例目に成る程。」と説明を頂いた。みんなでその周りを探すとまだ幼いモノから、黄土色になった成長したものまでいくつもある。掘ってみると見事にスッポンタケの球形が小さく縮こまって見事に養分を吸い取った立派なヤドリタケに成長している。出だし早々の大発見で「今日の観察会はこれで終わっても良いくらい」と下野先生。大形キノコのムレオオイチョウタケやアカヤマタケなど採取しながら、時にはゆらゆら揺れる薄紫のヤマハッカ、ミヤコアオイなど愛でながら急登を上り詰め野活の広場に出た。ここで同定会をすることとし、広場から一登りして旧管理棟の峠まで行ける人は採取行を続けることにした。途中、昨年穂谷で見たイカタケが爛熟気味ではあったが今年はここでシマを広げていて再会できた。

今年はキノコ観察会としては多数の参加者となり、たくさんのキノコ眼で硬軟様々なキノコが採取でき、広場の旗台で下野先生にはお昼ご飯抜きで同定作業、解説とご教示いただきありがとうございました。

リストのまとめは下野先生の監修を頂いて、私の方で致しました。その際、所属 {科} の記述には、北河内自然愛好会発行、田中光彦さん編集の「北河内キノコ目録」を参照致しました。ハンディで、種で引けば最新の科がすぐ分かるこの目録を大変重宝致しました。

また田中さんには、下野先生のお勧めもあり 10 月 29 日から開催された「府立京都植物園キノコ展」にスッポンヤドリタケを届けていただきました。内心心配していましたが、見事に 10 日間の保存にも耐えて立派な姿を見せていましたこと報告いたします。なお、12 月の関西菌類談話会スライド大会で下野先生がスッポンヤドリタケの報告発表をされましたが、遅刻出席で聞き逃してしまい残念至極でした。

スッポンタケと思しき幼蕾を持ち帰られた方もおられました、『カゴタケ』の可能性なきにしもあらず(下野先生)とのことで、その後の成長はいかがでしたでしょうか。

◎参加者：下野義人(講師)、栗田泰子、磯田一雄、稲原ヒサエ、岩井幸恵、榎本知恵子、大津由紀子、影千恵子、木村雅行、妹尾雅弘、田中英明、田中光彦、東郷弘子、長島照文、中野潤子、中町芥子、西畑敬一、波多野恵子、発ひとみ、三原真人、内田きみ子、葉方敦子 (以上 22 名)

キノコ一覧 2022.10.19 枚方市穂谷～野外活動センター (長島照文作成・下野義人先生監修)

番号	科	属・種・( )内備考	番号	科	属・種・( )内備考
1	アセタケ	アセタケ属	41	ニクザキン	スッポンヤドリタケ (非常に珍しいキノコ)
2	アセタケ	カブラアセタケ	42	ニセショウロ	コニセショウロ
3	アセタケ	キイロアセタケ	43	ニセショウロ	ニセショウロ属 (黒くて硬い)
4	イグチ	アケボノアワタケ	44	ヌメリガサ	アカヤマタケ属
5	イグチ	ヒメコウジタケ	45	ヌメリガサ	アカヤマタケ
6	イッポンシメジ	クサウラベニタケ	46	ヌメリガサ	アケボノタケ近縁種
7	ウラベニガサ	ベニヒダタケ	47	ヌメリガサ	トガリツキミタケ

8	キクラゲ	アラゲキクラゲ	48	ヌメリガサ	ヒメダイダイタケ
9	キシメジ	アオイヌシメジ	49	ヌメリガサ	ベニヒガサ
10	キシメジ	カキシメジ	50	ヌメリイグチ	ヌメリイグチ
11	キシメジ	カヤタケ	51	ノボリリュウ	ナガエノチャワンタケ
12	キシメジ	ムレオオイチョウタケ	52	ハラタケ	オニタケ
13	クヌグタケ	サクラタケ	53	ハラタケ	カラカサタケ属
14	クヌグタケ	チシオタケ	54	ハラタケ	キホコリタケ
15	クロサイワイタケ	クロコブタケ	55	ハラタケ	クリイロカラカサタケ
16	シハイタケ (仮称)	シハイタケ	56	ハラタケ	クロホコリタケ
17	シロキクラゲ	ハナビラニカワタケ	57	ハラタケ	ノウタケ
18	シロソウメンタケ	シロソウメンタケ	58	ハラタケ	ホコリタケ (キツネノチャブクロ)
19	シワタケ	アラゲニクハリタケ	59	ハラタケ	ワタカラカサタケ近縁
20	シワタケ	ヤケイロタケ	60	ヒドナンギウム	カレバキツネタケ
21	ズキンタケ	ズキンタケ	61	ヒメノガステル	キコガサタケ?
22	スッポントケ	スッポントケ	62	ヒメノガステル	ヒメワカフサタケ
23	タマチョレイタケ	アラゲカワラタケ	63	ヒメツチグリ	エリマキツチグリ
24	タマチョレイタケ	オオミノコフキタケ	64	ヒメツチグリ	シロツチガキ
25	タマチョレイタケ	カワラタケ	65	フウセンタケ	マルミノフウセンタケ
26	タマチョレイタケ	チリメンタケ	66	フウセンタケ	フウセンタケ属
27	タマチョレイタケ	チャカイガラタケ	67	フサタケ	サガリハリタケ
28	タマチョレイタケ	ニクウスバタケ	68	ベニタケ	ウズハツ
29	タマチョレイタケ	ヒイロタケ	69	ベニタケ	クロハツモドキの一種
30	タマバリタケ	キツブナラタケ	70	ベニタケ	シロハツ
31	タマバリタケ	コブリブナノモリツエタケ	71	ベニタケ	チシオハツ
32	タマバリタケ	ヌメリツバタケ	72	ベニタケ	チチタケ属
33	ツキヨタケ	モリノカレバタケ属	73	ベニタケ	チョウジチチタケ
34	ツキヨタケ	モリノカレバタケ	74	ベニタケ	ドクベニダマシ?
35	ツガサルノコシカケ	アオゾメタケ	75	ベニタケ	ハツタケ
36	ツガサルノコシカケ	ハウロクタケ	76	ベニタケ	ブナノモリドクベニタケ
37	ツマミタケ	<b>イカタケ (絶滅危惧II類)</b>	77	マクカワタケ	シックイタケ
38	テングタケ	アケボノドクツルタケ	78	モエギタケ	モエギタケ
39	ナヨタケ	ムササビタケ	79	モエギタケ	ニガクリタケ
40	ニクザキン	カエンタケ			

#### 第 434 回例会「紅葉の神戸市立森林植物園」 2022 年 11 月 19 日

中町芥子

秋晴れの良いお天気に恵まれた土曜日の朝、三ノ宮駅改札口から出てきた人が良く見えるように、オレンジ色に黒文字で「北河内自然愛好会」と書いた縦長の旗（やけに派手で目立つ!!）を持って立ちました。集合場所はバス停ですが、混雑の中迷ってしまうのではないかとの思いは杞憂でした。皆さんスムーズにバス停へ行かれたようでした。集まった数人と集合場所に行くと、長蛇の列!! 列の中ほどにいた愛好会の人たちと合流、後ろの人たちを気にしながら割り込んで列に入りました。バスは 2 台きました。中ほどに並んでい

た私たちは2台のバスに別れて乗りました。

バスが発車してしばらくすると運転手さんが、急坂、急カーブに入るから気を付けて下さい、と言われてました。本当に急な坂道を右へ左へとめまぐるしく曲がりながら登って行く。立っている人は大変だなと見ると、吊り革が目に入った。普通1本のベルトの先に持ち手の輪が付いているのに、2本のベルトがV字型になっていて、その先に持ち手が付いていた。なるほど!と納得。40分近くの乗車時間で、もう一つ気になったことがある。道路の曲がり角にカーブの数を書いた標識がガードレールくらいの高さの所にあり、R1~R77(R=カーブ)まで確認したけれど、一体幾つまであったのだろうか?緊張で座席を握りしめたり窓の外の紅葉している木々に癒されたり、楽しみながら終点の森林植物園に着きました。

会長の挨拶と稲原さんの諸注意と説明を聞いて入園する。今日の参加者は17名で、団体割引になったのが少しうれしかったのは私だけ?細かいお金の集金や受け渡しをされた会計と今日の担当者である稲原さんご苦労様でした。今日の観察会は広い園内、人出などを考慮して担当者たちの一存で、ボランティアのガイドさんを組み入れました。

少し休憩した後、所定の場所に並び、案内の人に珍しくご指名されたガイドの山田さんと紹介され、本人の挨拶の後、早速メタセコイアの紹介から始まり、案内最後のヌマスギまで50種類以上、その木にまつわる話、エピソード、自分の思い等を交えて1時間30分、歩いた距離、時間もなんだかあっという間に感じました。

紅葉の時期、人出が多かったのが気になりましたが自分たちもその仲間。長谷池のヌマスギの近くで、ガイドさんの終わりの挨拶と、お礼が済んだら、ちょうど昼食の時間でした。真っ白の花が見事に咲いているサザンカの側で食べたお弁当とお喋りは、紅葉したモミジにも負けないくらい最高でした。

食後はゆっくり園内を散策しながら出口へと向かいました。途中、安藤さんが何かを一生懸命観ているのが気になり、側に行くと覗いたら、見たことが無い白っぽい花のような、つぼみのような丸い物が一面に成っていました。名札は?と騒いでいると誰かが、あった、タニジャコウソウと書いてある、と言った。今度は中野さんがスマホで検索したタニジャコウソウの花を見せてくれた。ピンクのかわいい花が写っていた。花明山(かめやま)植物園(亀岡市)で見た、という人がいて、それ見てみたい、それとハナノキの花も、などと思いながら、紅葉・黄葉した木々を見ながら、おしゃべりしながら、出口に着きました。解散後、三ノ宮駅行きと北鈴蘭台行きのバスに分かれて乗り帰路につきました。

神主さんたちの持っている笏は、カンニング用!ワスレマセン!!皆さんありがとうございました。

(覚え書きのメモ)メタセコイア:黄葉する。セコイアメスギ:常緑樹。シモバシラ:伊藤圭介さんが発見、命名。ガマズミ:実につく虫こぶはガマズミケマルコブムシ。カツラ:落葉の香り。ヒメアジサイ:四季咲き、根元から切ってもまた芽が出る。ツクバネ:半寄生。サルトリイバラ。ホオノキ:朴葉みそ。サザンカ:神戸市の木、原種は白い花。クサギ:実を染料。コアジサイ:香りが良い、飾り花がない。ダイオウショウ(大王松):葉が3本。モミジバフウ:もみじの仲間ではない。ユリノキ。ナンキンハゼ:和ろうそくの原料。シーボルトノキ:長崎のシーボルトの家の庭にあった木、牧野富太郎の命名。ハゼ:中国原産、偶数の羽状葉。カキノキ:雌株には赤い実が成る、孔子ゆかりの木。ユーカリ:焼け跡から芽を出す。ブラシノキ。アカメガシワ:樹皮は胃薬。ネズミサシ:ネズミを防ぐ。ムラサキシキブ:ガク無し。ヤブムラサキ:ガク有り、葉がふわふわ。カマツカ:農機具の柄、別名ウシコロシ。ミヤコザサ:標高400m以上に育つ。コウヤボウキ。ヤマコウバシ。コバノガマズミ。シナヒイラギ(チャイニーズホーリー):下方の葉にはトゲあり、上部は無い。タラヨウ:葉裏に字が書ける。アベマキ:葉裏は白、コルクの材料。クヌギ:シイタケの原木。ハナイカダ:雌株は花1個、雄株は花多い。イヌザンショウ。イタドリ:痛み取り。タラノキ。ノリウツギ:和紙の繋ぎの糊に使う。ヤマボウシ:花より葉が先に出る。ハナミズキ:葉より花が先に咲く、実は食べられない。コシアブラ:葉が5枚、油を採る。ハナノキ:赤い花が咲く、愛知、岐阜。ハクウンボク:葉柄内芽。シロバナウンゼンツツジ:ガイドの山田さんの好きな花。ヌマスギ:気根。タニジャコウソウ:花明山植物園にも。以上下見の時と当日の覚え書きです。

会員外で参加された葉方敦子さんがコメントをくれました。(以下)

2回目の参加でしたが、気さくな方たちばかりで、すっかり和ませていただきました。往復バスも楽しんで良かったです。数えきれない程行っていたけれど、ガイドさんは初めてで、森林植物園のできた由来から知り、ほぼ見過ごしていた木々の実物を見ることができて良かったです。季節を問わず行きたいと思います。それとハクウンボクの葉を取り除き、葉柄内芽の様子を見せてもらったのは感激しました。

◎参加者：安藤香子、稲原良三、稲原ヒサエ、岩井幸恵、榎本知恵子、大津由紀子、鈴木永子、妹尾雅弘、高見君江、田中光彦、東郷弘子、長島照文、中野潤子、中町苓子、西畑敬一、波多野恵子、葉方敦子（以上17名）

#### 《会員交流コーナー》\*\*\*\*\*

<何の虫の鳴き声でしょう？>今まで聞いたことも無かったように思いますが、突如庭でけたたましく甲高く鳴いている虫の声に驚きました。（ビデオ添え）（9/12 太田理）

<回答>木の上の方から聞こえませんでしたか？アオマツムシはいかがでしょう？（9/13 天野史郎）→庭の下の方かと思ったのですが、庭木の上の方から聞こえていました。アオマツムシですね。（太田）

<キツネノエフデ>21日に穂谷でキツネノエフデを見つけました。キノコ目録の補遺として報告です。（9/23 田中光彦）

<教えて>一昨日、もと南港野鳥園近辺の調査に行きました。わからない植物がありました。分かる範囲で教えてください。2022年9月25日コスモスクエア海浜緑地カヤツリグサ科...茎、花柄に毛はありませんでした。花序の長さは2cm幅1cmくらい。一株しか見当たりませんでした。もと南港野鳥園出たところの道路側の歩道シソ科ゴマ?...高さは30センチくらい、花は淡ピンクで2cm位。何株かありました。鶴見の観察園の畑で見たゴマ（キングマ）より小さいと思いました。（9/26 北川ちえこ）

<教えて>先日の飯盛霊園～星田園地の植生観察では、途中から雨になりましたが、アイナエやツチアケビ等珍しい植物を観察できました。同時に私的なことですが、これで生駒山系を南の信貴山から、北の甘南備山まで一応歩いた道につながったこととなります。教えていただきたいのですが、9月24日に飯盛山へ行ったとき、楠公谷の水場へ下る道で、添付しました写真①のような茸を三本見つけました。図鑑で調べましたが名前が分かりません。もう一つは、9月30日に生駒山の撰河泉展望コースで、あじさい園へ行く道とクロスしたすぐ上の左側で、こんな茸（写真②）を見つけました。実は9月21日にも、同じ場所だと思いましたが、赤いキノコを2本見つけて、その時は写真を撮れなかったのですが、図鑑を見てヒイロガサではないかと思いました。その時は色も鮮やかで笠に皺もなく、寄り添うように2本がすっきり立っていました。それと同じ茸かどうか分かりませんが、1本だけで、笠に皺が寄って、軸も斜めになっていました。（10/1 磯田一雄）

<回答>写真②さわって硬ければマンネンタケだと思います。（10/1 天野）

<オオオナモミの生息地を教えてください>知り合いが教材のためにオナモミの仲間を探しています。ひつつき虫の仲間として紹介したいのだと思います。市域調査でオオオナモミは大和川や淀川水系で時々見かけますが近年本当に少なくなりました。イガオナモミなんかは10年以上見ていません。もし、大阪市内や北河内で生えているところを知っておられましたら、過去でもいいですから場所を教えてください。（10/14 北川）

<続信>本日、京都の友人から近所の川でオオオナモミの実があるという返事が来ました。ということで解決しました。（10/15 北川）

<教えて>写真の植物の名前を教えてください。2022年11月27日（日）大和川堤防法面（コンクリ）から出していました。葉は肉厚で長さ2cmくらいで葉腋にはタデ科の鞘のような赤い筋がありました。花の構造はよく分かりません。（11/30 北川）

◎異動等（敬称略）退会：中原利子（9/4 大東市 6/21 ご逝去ご冥福をお祈りいたします。）

10/31 自然退会者：井上秀昭（守口市）、円山堅（四條畷市）、山田美鈴（大東市）

編集後記：一気に冬がやってきたような感じです。世情ではコロナウィルスが感染再拡大で第 8 波？ウクライナ情勢も収まりません。何か良い情報があると良いのですが…。編集や投稿に関して、お気軽にご意見などお寄せ下さい。（太田）

【諸連絡の窓口】 ◇会の代表者・会長：西畑敬一 072-876-8114  
◇会費の納入・会計に関して：稲原良三 072-892-8507  
◇会報の投稿・編集に関して：太田理 0743-79-9665 会員交流コーナーなども太田宛メールか郵送で送ってください。 ma36ux75ml@kcn.jp 〒575-0013 四條畷市田原台 7-5-2

北河内自然愛好会 年会費 1000 円 郵便振替 00970-4-103735

目次

第 432 回「ほしだ園地の植物」田中光彦-----1  
第 433 回「穂谷のキノコ観察」長島照文-----2  
キノコ一覽 2022.10.19 枚方市穂谷～野外活動センター 長島照文-----2  
第 434 回「紅葉の神戸市立森林植物園」中町苓子-----4  
会員交流コーナー-----5 異動-----5 編集後記-----6  
カラーグラビア版-----別刷 例会案内-----別刷



「フタリシズカ」岡田雅彦氏画